

2002年10月29日  
川崎製鉄株式会社

## アルミ精錬用電極向けメルトピッチ出荷設備(輸出向け)の新規建設について

川崎製鉄は現在、化学事業部千葉工場内に輸出向けメルトピッチ(液状ピッチ)の出荷設備を建設しております。この投資は、今後継続的に市場の拡大が予測される海外のアルミ精錬用電極向けバインダーピッチ分野での拡販を狙いとしており、メルトピッチの拡販によりプロダクトミックスの改善、物流のコストダウン効果が期待できます。

ピッチは、コークスから生成されるコールタールを蒸留して製造し、主に国内の製鉄電炉用電極のバインダーとして使用されるほか、海外でのアルミ精錬用電極のバインダーとしても使用されています。現在、アルミ精錬用電極バインダー向けピッチは、出荷のためのメルトピッチ専用タンクが必要なことから固体状のピッチで輸出されていますが、受け入れ側となるアルミ精錬工場が新設・増設される場合、メルトピッチでの受け入れが前提となるケースが増加してきております。

なお、現在当社で建設中の海外向けメルトピッチ出荷設備は、国内初の設備となります。

川崎製鉄は2003年4月1日をもって化学事業部を分社化し、NKKの化学事業子会社であるアドケムコ(株)と統合再編し、「JFE(ジェイ エフ イー)ケミカル株式会社」を設立する予定です。新会社のタール蒸留規模は、国内最大の約60万トンに達しますが、今後ともアルミ精錬電極用輸出メルトピッチをメイン品種として位置付け、積極的に拡販活動を展開していく予定です。

### (参考データ)

#### 1. 投資概要

- ①場 所:川崎製鉄(株)化学事業部千葉工場(千葉製鉄所内)
- ②内 容:貯蔵用タンク4基、配管設備
- ③能 力:年間 75,000トン
- ④投資額:5億円
- ⑤建設期間:(建設開始)2002年7月 (完工予定)2003年1月初旬

#### 2. 初出荷の予定

2003年4月

以 上

問い合わせ先 川崎製鉄広報室 03-3597-3166

【写真 1】メルトピッチ出荷用タンク4基の全景。4基共に組み立てがほぼ完了した状態。



【写真 2】製作完了後、出航のため船積み中のメルトピッチ出荷用タンク

